

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③ 医療・福祉の充実
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実
主な取組	へき地医療支援機構運営事業			
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
取組内容		H29	H30	R元	R2	R3
離島・へき地の医療機関での勤務を希望する医師の情報収集を全国規模で行う。 離島・へき地の医療支援を円滑かつ効率的に実施するため、総合的な離島・へき地医療支援のための各種医療施策の企画調整や代診医の派遣等を行う。		188人 ドクターバンク 登録医師数	203人	218人	233人	248人
実施主体	県	離島・へき地医療機関での勤務を希望する医師への情報提供				
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課	【098-866-2111】	へき地診療所等への代診医派遣に係る調整			

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	へき地医療支援機構運営事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： 離島・へき地の医療機関での勤務を希望する医師の情報収集を行った。
各省計上	委託	—	30,615	42,765	53,142	32,507	50,214	各省計上	OR3年度： 離島・へき地の医療機関での勤務を希望する医師の情報収集・仲介を行う。

予算事業名	—						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： —
		—	—	—	—	—	—		OR3年度： —

様式1(主な取組)

活動指標名	ドクターバンク登録医師数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要			
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B						
	173	203	258	296	334	233	100.0%	32,507	概ね順調	求人医療機関と求職医師の窓口を沖縄県へき地医療支援機構内に設置し、県内の公的医療機関勤務を希望する医師の情報収集を行った。また、沖縄県へき地医療支援機構として、離島・へき地診療所に対して代診医の派遣等の支援を行った。			
活動指標名	代診医派遣日数				R2年度					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	104	160	65.0%						
活動指標名	—				R2年度			—	—	—			
実績値	—	—	—	—	—	—	—						
(2)これまでの改善案の反映状況													
令和2年度の取組改善案						反映状況							
<ul style="list-style-type: none"> 医師確保計画を踏まえ、県内へき地診療所における医療需要の変化及び時間外労働上限規制の導入により必要となる医師派遣及び代診医派遣等の支援のあり方について、保健医療部及びへき地医療支援機構並びに各診療所等の関係者と議論を行う。 						<ul style="list-style-type: none"> 医療政策課とへき地医療支援機構で定期的に会議を行い、代診を派遣するへき地医療拠点病院の機能強化等について検討するとともに離島医療等について情報の共有を図った。また、離島診療所を訪問し、診療所医師に意見を聴取しつつ、町村の担当者にもへき地医療支援機構の事業を活用し負担軽減を図るよう促した。 							



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・へき地診療所所在市町村の担当者より離島診療所への支援事業の情報提供など要望がある。

○外部環境の変化

・働き方改革関連法による労働基準法の改正により、医療従事者についても令和6年度から時間外労働上限規制が適用される

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・年度当初にへき地診療所所在市町村に対しへき地医療支援事業の情報提供及び当該市町村が抱える課題等の対応を行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・毎年度末に開催する、へき地診療所所在市町村主管課長を年度当初に開催し、県、へき地医療支援機構、へき地診療所所在市町村間でへき地医療に関する課題等を共有し、解決に向けた取り組みを早い段階で行い、連携の強化を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③ 医療・福祉の充実
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実
主な取組	ヘリコプター等添乗医師等確保事業			
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
急患空輸を実施する自衛隊、海上保安本部のヘリ等航空機への医師等添乗体制を確保し、離島からの急患の救命率の向上、後遺症の軽減を図るため、添乗医師等派遣協力病院の運営費等を補助する。		12病院 添乗協力病院数	12病院	12病院	12病院	12病院
実施主体	県、市町村					
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課 【098-866-2111】					
		当番病院への報償費・災害補償費、添乗協力病院への運営費補助				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	ヘリコプター等添乗医師等確保事業 (単独事業)						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： 添乗当番医師等への報償費及び災害補償費の補助を行った。	
県単等	補助	5,218	5,127	5,140	5,094	5,659	6,174	県単等	OR3年度： 添乗当番医師等への報償費及び災害補償費の補助を行う。	
予算事業名	ヘリコプター等添乗医師等確保事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： R2年度： 添乗医師等派遣協力病院（12病院）への運営費の補助を行った。	
一括交付金（ソフト）	補助	44,084	32,850	32,845	32,934	32,850	32,850	一括交付金（ソフト）	OR3年度： 添乗医師等派遣協力病院（12病院）への運営費の補助を行う。	

様式1(主な取組)

活動指標名	ヘリコプター等添乗協力病院数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	11病院	11病院	12病院	12病院	12病院	12病院	100.0%	38,509	順調	令和2年度は、延べ163件の搬送を実施した。(内訳：自衛隊108件、海上保安本部55件) ※R2.12月時点令和元年度の添乗協力病院は12病院だった。
活動指標名	—				R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名	—				R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			急患空輸を実施する自衛隊、海上保安本部のヘリ等航空機への医師等の当番添乗体制を確保することにより、急患空輸を安定的に実施することができた。令和元年度は、163件の搬送を実施し、離島へき地における救急医療に貢献した。 ※R2.12月時点
	—	—	—	—	—	—				

(2)これまでの改善案の反映状況

令和2年度 of 取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 添乗当番病院の協力を得られていない救急病院について、参画できない理由等を検証し、参画に向けた支援策を検討する。 急患搬送の事後検証の方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 参画に向けた支援策を検討していく 急患搬送の事後検証について、関係機関との意見交換を実施



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 添乗当番病院は曜日ごとに決めており、固定の曜日を毎週担当する病院と、複数の曜日を隔週で担当し、場合によって週に2回の当番となる病院がある。
- ・ 添乗医師等を確保するために当番日の人員配置を行うなど、添乗当番病院には大きな負担となっている。

○外部環境の変化

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 添乗当番病院の当番日数を減らして当番病院に係る人員配置等の負担を軽減するため、当番病院への新規参画を促す必要がある。
- ・ 急患搬送の効果向上を図るため、搬送の事後検証を検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 添乗当番病院の協力を得られていない救急病院について、参画できない理由等を検証し、参画に向けた支援策を検討する。
- ・ 急患搬送の事後検証の方法を検討する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③ 医療・福祉の充実
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実
主な取組	救急医療用ヘリコプター活用事業			
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
救急医療用ヘリコプターを安定的に継続して運航することで、傷病者の救命率の向上、後遺症の軽減に寄与し、離島・へき地の救急医療体制の強化を図る。		350件 搬送件数 (県内)	353件	356件	359件	362件
		ドクターヘリ運営費の補助、搬送先病院へのヘリポート整備の促進				
実施主体	浦添総合病院					
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課		【098-866-2111】			

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)		
予算事業名 救急医療用ヘリコプター活用事業 (補助事業)									
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
							当初予算額	主な財源	OR2年度： ドクターヘリ運航に係る運営費の補助を行った。(251,655千円)
各省計上	補助	250,549	250,549	250,549	250,549	251,655	252,741	各省計上	OR3年度： ドクターヘリ運航に係る運営費の補助を行う。(252,741千円)
予算事業名 救急医療用ヘリコプター活用事業 (交付金事業)									
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
							当初予算額	主な財源	OR2年度： 運営費の不足分に対する追加補助を行った。
一括交付金(ソフト)	補助	19,876	17,748	17,677	28,534	25,950	26,208	一括交付金(ソフト)	OR3年度： 運営費の不足分に対する追加補助を行う。

様式1(主な取組)

活動指標名	搬送件数(県内)				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
	347件	457件	444件	384件	362	359	100.0%	277,605	順調	ドクターヘリ実施病院に運営費を支援することにより、年間を通じて継続した運航を行なう体制を確保した。 (令和2年度実績 搬送件数362件 搬送人数362人)		
活動指標名	—				R2年度					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	—	—	—					
	—	—	—	—	—	—	—			令和2年度は362件、362人を搬送した。 ドクターヘリを運航することにより、傷病者への迅速な初期医療処置が可能となり、救命率向上及び後遺症低減に寄与した。		
活動指標名	—				R2年度			実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B		
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	—	—	—					
	—	—	—	—	—	—	—					
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和2年度の取組改善案						反映状況						
・ドクターヘリの安定継続的運航を図るため、ドクターヘリの運航に関して、本県特有の地理的特性等の事情により全国に比べ割高となっている運営経費に対し、一括交付金を活用した補助を継続して実施する。						・ドクターヘリの安定継続的運航を図るため、ドクターヘリの運航に関して、本県特有の地理的特性等の事情により全国に比べ割高となっている運営経費に対し、厚生労働省補助金及び一括交付金を活用した補助を継続して実施した。						



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・本県のドクターヘリは、地理的特性等の沖縄特有の事情(燃料費が割高、洋上飛行が多く付属品のフロート等の装備品が必須、それに伴う減価償却費の負担増等)により全国に比べ割高となっている。

・搬送回数の半数以上で飛行距離が半径100kmを超える洋上飛行となっており、全国と比べ搬送距離及び搬送時間が長くなっている。

○外部環境の変化

・平成28年度に鹿児島県奄美地域にドクターヘリが導入されたことにより、沖縄県ドクターヘリによる与論島、沖永良部島、徳之島の搬送件数が減少した。

・令和2年10月にお話件北部地域救急・救助ヘリが導入されたことにより、沖縄県ドクターヘリによる沖縄県本島及び周辺離島の搬送件数が若干減収した。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・沖縄特有の地理的特性等の事情により全国に比べ割高となっている燃料費、減価償却費等については、引き続き支援を実施する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ドクターヘリの安定継続的運航を図るため、ドクターヘリの運航に関して、本県特有の地理的特性等の事情により全国に比べ割高となっている運営経費に対し、一括交付金を活用した補助を継続して実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③ 医療・福祉の充実
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実
主な取組	へき地診療所施設整備等補助事業費			
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
離島・へき地における安定的な医療の確保を図るため、診療所の施設整備を行う市町村に対し補助を行う。						
実施主体		へき地離島診療所施設整備				
担当部課【連絡先】		保健医療部医療政策課 【098-866-2111】				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
									一括交付金(ハード)	補助
予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
—										
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
									—	—

様式1(主な取組)

活動指標名	補助移設整備に向けた取組				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	—	100.0%	22,398	順調	令和2年度は粟国村から、へき地診療所整備(歯科)に対する補助の要望を受け実施した。 令和3年度は、診療所を運営している市町村に対して、診療所の施設整備を行う予定及び当該事業の活用の有無を照会したが、市町村から活用要望がなかった。
活動指標名	—				R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに事業遂行できるよう県と市町村、沖縄県歯科医師会等の関係機関と調整会議を定期的開催し、入札状況や施工計画の進捗管理の徹底を図る。 原材料高の影響による入札不調や天候の悪化等による資材搬送の遅れに伴い、工事の長期化が懸念される場合には、市町村と連携し、施工計画の見直しを行う。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響等を受け、工事の遅延、長期化が懸念されるが、市町村と連携し、施行計画の見直しを図った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

- ・令和2年度は粟国村のへき地診療所(歯科)の整備を実施する予定であったが、整備対象施設が離島やへき地にあるため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすく、例年以上に資材確保に時間を要するほか、近年の建築関係工事の人材不足、原材料高の影響による入札不調等、工事の遅延があった。
- ・令和3年度については、施設整備を要望する市町村がなかったことから実施予定はない。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・毎年度、市町村の要望を確認するとともに、過去に実施した離島、へき地地域における施設整備等の公共工事に関する前例を確認し、工期や各地域の個別状況に留意する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・計画通りに事業遂行できるよう県と市町村、沖縄県歯科医師会等の関係機関と調整会議を定期的に行い、入札状況や施工計画の進捗管理の徹底を図る。また、原材料高の影響による入札不調や天候の悪化等による資材搬送の遅れに伴い、工事の長期化が懸念される場合には、市町村と連携し、施工計画の見直しを行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③ 医療・福祉の充実
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実
主な取組	専門医派遣巡回診療			
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
離島に住む住人が、島内で専門医の診察を受診できるようにするため、離島診療所において専門医による巡回診療を実施する。		100回				
		巡回診療回数				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課		【098-866-2111】			
		眼科、耳鼻科等の専門医による巡回診療				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 専門医派遣巡回診療支援事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
一括交付金(ソフト)	委託	35,051	27,091	26,032	28,270	22,672	32,367	一括交付金(ソフト)	OR2年度： 離島診療所において、専門医による巡回診療48回、受診者延べ617名の診療を実施した。	OR3年度： 離島診療所において、専門医による巡回診療96回、受診者延べ1,000名の診療を実施する。
予算事業名 離島巡回診療ヘリ等運営事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
各省計上	委託	—	13,200	8,591	20,806	20,295	34,157	各省計上	OR2年度： 離島診療所において、専門医による巡回診療12回、受診者延べ202名の診療を実施した。	OR3年度： 離島診療所において、専門医による巡回診療44回、受診者延べ700名の診療を実施する。

様式1(主な取組)

活動指標名	巡回診療回数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	106	120	94	114	60	100	60.0%	42,967	やや遅れ	離島診療所において、眼科、耳鼻科等の専門医による巡回診療60回、受診者延べ819名の診療を実施した。
活動指標名	—				R2年度					
実績値	—	—	—	—	—	—	—			
	—	—	—	—	—	—	—			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	—				R2年度			42,967	やや遅れ	定期航路及び航空路を利用した巡回診療の実施により、巡回診療回数及び受診者数は概ね順調に推移している。また、市町村のニーズの的確な把握、派遣元医療機関の拡充に取り組んだ結果、離島における専門診療科の受診機会が確保され、医療格差の是正、定住条件の整備が図られた。
活動指標名	—				R2年度					
実績値	—	—	—	—	—	—	—			
	—	—	—	—	—	—	—			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 離島診療所及び市町村の協力を得、定期的に巡回診療を実施するため、必要な専門診療科のニーズや地元住民の一般診療の受診状況を把握し、地域の医療ニーズに応じた適切な巡回診療を実施する。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、離島診療所及び市町村からの要望に応じた適切な巡回診療を実施した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・巡回診療のニーズはあるものの、巡回診療を実施する地元診療所(実施場所)とのマッチングができず、巡回診療が実施できないことがある。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染防止対策として、医療従事者及び患者の移動が制限されることもあるため、状況に応じた巡回診療を行う必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・離島診療所及び町村役場との緊密な連絡・調整により、離島診療所(一般診療)の利用が少ない時期や曜日、時間帯の確認や専門診療科ごとの地元住民が希望する曜日、時間帯の把握に努め、巡回診療を定期的に行うことができるようにする必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・離島診療所及び市町村の協力を得、定期的に巡回診療を実施するため、必要な専門診療科のニーズや地元住民の一般診療の受診状況を把握し、地域の医療ニーズに応じた適切な巡回診療を実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③ 医療・福祉の充実
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実
主な取組	離島患者等支援事業			
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
離島のがん患者、難病患者、妊産婦等の島外の医療機関への通院に係る経済的負担を軽減することを目的として、これらの者に対し、島外への通院に要する船舶運賃、航空運賃及び宿泊費を助成する市町村に対して、その助成に要する経費の一部を県が補助する。		18市町村				
実施主体	県、市町村					
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課 【098-866-2111】					
		島外医療施設への通院費を助成する市町村に対する補助				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 離島患者等通院費支援事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度
県単等	補助	—	6,894	9,784	15,310	15,072	14,751	県単等	OR2年度： 15市町村が本事業を活用した。 OR3年度： 18市町村が本事業を活用する計画である。
予算事業名 —							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度
		—	—	—	—	—			OR2年度： — OR3年度： —

様式1(主な取組)

活動指標名	補助市町村数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		13	15	15	15	18	83.3%	15,072	概ね順調	<p>離島患者の島外の医療施設への通院に要する経済的負担を軽減し、適切な医療を受ける機会を確保するため、有人離島を有する18市町村へ離島患者等支援事業の周知を図った結果、15市町村が本事業を活用し、延べ3,115人(実績見込)の負担軽減を図った。</p>
活動指標名	—				R2年度					
実績値										
活動指標名	—				R2年度					
実績値										
活動指標名	—				R2年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に最も身近な市町村の理解を深めるため、市町村との意見交換の場を継続して確保する。 ・既存の事務手続きの簡素化に努めるとともに、宿泊費や航空運賃、船舶運賃の変動等を踏まえた適切な補助を行うことで、市町村の負担軽減を図り、離島患者等に対する助成の拡充を促進する。 						<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市町村説明会は開催中止としたが、書面による要望調査を実施する等して、市町村のニーズを把握に努めた。 ・今年度から実績報告を年2回に分けて実施することで、補助申請漏れを防止するとともに、審査業務を分散させることで事業の適正な執行を図った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・関係市町村による離島患者等に対する助成が促進し、離島・へき地の医療提供体制の状況、離島地域の高齢化に伴う疾病構造の変化、市町村及び離島患者等のニーズを踏まえた柔軟かつ効率的な対応を行う。
- ・市町村による離島患者等への助成の拡充を促進する。

○外部環境の変化

- ・新たな病院・診療所の設立により、島内での治療が可能になっていないか、関係市町村と連携し、定期的に調査を行い、事業の適正化に努める。
- ・宿泊費や航空運賃、船舶運賃の変動を踏まえて、適切な補助を行っていく必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・離島・へき地の医療提供体制の状況、離島地域の高齢化に伴う疾病構造の変化、市町村及び離島患者等のニーズを的確に把握するため、地域住民に最も身近な市町村との意見交換等を定期的に行う必要がある。
- ・市町村の財政負担及び事務負担の軽減を図ることにより、市町村の離島患者等への助成拡充を促す必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・地域住民に最も身近な市町村の理解を深めるため、市町村との意見交換の場を継続して確保する。
- ・事業の適正な執行管理に努めるとともに、宿泊費や航空運賃、船舶運賃の変動等を踏まえた適切な補助を行うことで、市町村の負担軽減を図り、離島患者等に対する助成の拡充を促進する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	③ 医療・福祉の充実
			施策の小項目名	○離島の医療・福祉サービスの充実
主な取組	県立病院医師派遣補助事業			
対応する主な課題	③離島・へき地の医療については、救急医療をはじめとして地域のみで十分な提供ができない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との連携体制を整備・拡充する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
離島・へき地における医療提供体制を確保するため、病院事業局に補助を行い、必要な医師を確保する。 ①県立9離島診療所への医師配置(無医地区医師派遣事業) ②北部・宮古・八重山病院への専門医派遣(専門医派遣事業)						
実施主体	県、病院事業局					
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課 【098-866-2111】					
		離島・へき地の住民医療の確保に対する助成				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 県立病院医師派遣補助事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
一括交付金(ソフト)	補助	322,929	394,047	378,567	462,055	507,319	557,406	一括交付金(ソフト)	OR2年度：①県立9離島診療所で勤務する医師の person 費を支援した。②北部・宮古・八重山病院への専門医派遣を支援した。 OR3年度：①県立9離島診療所で勤務する医師の person 費を支援する。②北部・宮古・八重山病院への専門医派遣を支援する。	
予算事業名 —							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
		—	—	—	—	—			OR2年度：— OR3年度：—	

様式1(主な取組)

活動指標名	離島診療所派遣医師数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	9	9	9	9	9	9	100.0%	507,319	順調	<p>県立9離島診療所への医師の継続的配置を行うための費用(医師の人件費)を補助した。</p> <p>また、全国の民間医療機関等から北部・宮古・八重山病院へ専門医等を派遣するため、派遣元病院等との労働者派遣法に基づく派遣契約に係る費用を補助した。</p>
活動指標名	北部・宮古・八重山病院への専門医派遣医師数				R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	13	17	17	19	18	16	100.0%			<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>県立9離島診療所に対し、計画どおり9名の医師を派遣し、対象地域の医療提供体制の確保を図った。</p> <p>また、北部・宮古・八重山病院に対する、民間医療機関等からの専門医等の派遣について、計画より多く18名の専門医を派遣し、離島・へき地における医療提供体制の確保を図った。</p>
活動指標名	—				R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<p>・医師確保計画を踏まえ、県立北部、宮古及び八重山病院の各専門診療科並びに9へき地診療所における医療需要の変化及び時間外労働上限規制の導入により必要となる医師数及び必要医師数確保に向けた施策について、病院事業局等の関係者と議論を行う。</p>						<p>・医師需要に対応した派遣体制は依然として派遣元医療機関の事情に左右されることが多い。引き続き、時間外労働の上限規制の導入により必要となる医師数及び確保に向けた施策について、病院事業局等の関係者と議論を行う。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ 改正医療法に基づき策定した医師確保計画における各医療圏及び離島・へき地診療所の医師確保の方針及び目標医師数並びに目標医師数に向けた施策を踏まえ事業を実施していく必要がある。

○外部環境の変化

・ 働き方改革関連法による労働基準法の改正により、医療従事者についても令和6年度から時間外労働上限規制が適用される。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 医師確保計画を踏まえ、県立北部、宮古及び八重山病院の各専門診療科並びに9へき地診療所における医療需要の変化及び時間外労働上限規制の導入により必要となる医師数について検討を行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 医師確保計画を踏まえ、県立北部、宮古及び八重山病院の各専門診療科並びに9へき地診療所における医療需要の変化及び時間外労働上限規制の導入により必要となる医師数及び必要医師数確保に向けた施策について、病院事業局等の関係者と議論を行う。